

2022年度
神戸山手女子高等学校 入学試験
(1次)

国 語

- ・試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- ・試験時間は50分です。
- ・解答用紙は、この問題冊子の中央にはさまれています。
- ・試験のはじめに、受験番号を解答用紙に記入しなさい。
(氏名を書いてはいけません。)
- ・解答用紙の  の採点欄には、何も書いてはいけません。
- ・解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。
- ・字数制限のある問いでは、句読点や記号も一字と数えます。
- ・質問などがあれば、静かに手をあげて知らせなさい。

【一】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

あなたは動物ドキュメンタリーを見ている。例えばNHKの『ダーウィンが来た!』。今回とりあげる動物はサバンナに暮らす母ライオンだ。最近子供が3頭生まれた。しかしこの年のアフリカは乾季が長く続き、草が生えないのでライオンの^①エモノになる草食獣が少ない。

母ライオンは飢えに苦しんでいた。乳も出ないから、3頭の仔ライオンも痩せ細って衰弱している。

その日、母ライオンは久しぶりにエモノを見つけた。2匹のガゼルだ。大きさが違うから親子かもしれない。弱った自分の足では親のガゼルを仕留めることは無理かもしれないけれど、子供のガゼルなら追いつくはずだ。母ライオンは風下から少しずつガゼルに近づく。この狩りに失敗したら仔ライオンたちは明日までには衰弱して死ぬだろう。

このときテレビを見ているあなたは、^①頑張れと母ライオンに声援を送るはずだ。狩りに成功して仔ライオンの命を救ってくれ、と願うはずだ。

次に視点を変える。あなたはガゼルのドキュメンタリーを見ている。この年のサバンナは乾季が長く続いて草が少ない。生まれたばかりの仔ガゼルと母ガゼルは、少ない草を求めてサバンナをさまよい続け、ようやく草地を見つけた。母と仔は必死に草を食む。でもロングにズームしたカメラが、遠くに隠れている凶暴そうな雌ライオンを捉えた。少しずつ近づいてくるが、母と仔のガゼルは気づかない。

このときあなたは、早く気づけと願うはずだ。早く逃げろ。逃げて生き延びろ。

^②これが視点だ。どちらも嘘ではない。でも中立でもない。視点を変えるだけで世界は猫の目のように変わる。中立とは何か。ライオンとガゼル双方を等分に撮るのか。物理的にそれは無理だ。番組としての尺も限られている。あなたはイラク戦争を記録するジャーナリストだ。ベトナム戦争でもいい。あなたはどこに立つのか。米軍とイラク軍の真ん中か。北ベトナムと南ベトナムの境界に立ってそれぞれを撮るのか。次の瞬間

にあなたは銃撃されているはずだ。だからこそ戦場ではエンベッド（従軍）が不可欠だ。それでも中立と胸を張れるのか。映像だけではない。

あなたは誰かの笑みをニコニコと表現する。でももしも、その誰かに対しての好感度が低いのなら、その笑みはニヤニヤと描写されるはずだ。

オウム信者たちが記者会見を開いて微笑めばニヤニヤ。アイドルやスポーツ選手が記者会見で笑えばニコニコ。日産会長時代のカルロス・ゴーン③の笑みはニコニコ。でも④逮捕以降はニヤニヤ。そんな事例はいくらでもある。事実ではない。事実は書けない。書けるのはそれぞれの視点

(主観)なのだ。

広辞苑は中立の定義を(1) いずれにもかたよらずに中正の立場をとること。「―の思想」(2) いずれにも味方せず、いずれにも敵対しないこと(以下略)。」と規定している。この場合の「いずれ」は、敵対や相反する二つの⑤ヨウソだ。④A点とB点双方から等距離にあるC点が中立。なるほど。ならば問いたい。A点とB点の位置は誰が決めるのか。それが違えばC点の位置も変わる。

誰かが座標軸を設定しなくてはならない。ラインはない。グラデーションだ。「A」中立の位置に立つのなら、どこかにラインを引かなくてはならない。これを決めるのは誰か。その人の政治的信条や思想、あるいは嗜好によって位置は変わる。ならば二つの点の中間にマークしたとしても、⑥忒意性からは結局のところ逃れられない。

(中略)

①ソシキを離れて一人でカメラを回したことで、中立で客観的な映像などありえないことに僕は気がついた。だって表現なのだ。主観で当たり前。客観的なベートーヴェンの交響曲をあなたはイメージできるだろうか。中立公正なピカソの「ゲルニカ」に意味はあるのだろうか。問題はむしろ、主観を隠して中立や客観を装うことだ。

⑤表現領域におけるこの原則は、活字や映像など媒介を使うかぎり、報道の現場においても同様に働いている。ニヤニヤと書くかニコニコと書くか。あなたは無意識に選択しているはずだ。ただし⑥報道の場合は、※2ベクトルが微妙に違う。公正中立を目指すことは間違いではない。

できるかぎりは多くの人の声を聴く。多くの視点を試す。客観性を模索すべきだ。ただしその場合も、そもそも情報は主観であつて中立の位置など誰にもわからないことを、しっかりと自覚しておくことは前提だ。

記述はニコニコでもニヤニヤでもいい。あなたが本当にそう感じたのなら、それはあなたにとつての真実だ。ただし総理や官房長官の記者会見でニヤニヤと感じたのにニコニコと書くのなら、「B」内心は好感を持った被告人なのに視聴者や読者から抗議が来ることを危惧してニヤニヤにするならば、あなたはその瞬間に自分の主観を裏切ったことになる。

ジャーナリズムの基盤は一人称単数を主語にした疑問や使命感。悲しみや怒り。それをごまかしてはいけない。しっかりと示せ。自分を裏切つてはいけない。

事実はない。あるのは解釈だけだ。

これは※3 ニーチェが『権力への意志』に残した※4 箴言。長々とここまで書いたけれど、これに加えることは実のところ何も無い。メディアは情報を四捨五入する。ラインを無理に引く。でも実際の世界は多層で多重的。空は青で樹は緑。これは情報。でも実際にはいろんな色が混在している。どこから見るかでまったく変わる。

だからこそ世界は豊かで美しいのだ。

（森達也「ニヤニヤと書くかニコニコと書くか

あなたは無意識に選択している」より一部改変）

※1 恣意性……自分の思うままに振る舞う性質。

※2 ベクトル……意識を向けたり進もうとしたりする方向。

※3 ニーチェ……ドイツの哲学者。

※4 箴言……教訓の意味をもつ短い言葉。格言。

問一 —— 線①②について、漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直して書きなさい。

問二 「A」・「B」に入る言葉を、次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

あ 例えば い ところで う あるいは え でも

問三 —— 線①「頑張れと母ライオンに声援を送るはずだ」とありますが、なぜ応援したくなるのですか。その理由を、母ライオンの置かれた状況を踏まえて説明しなさい。

問四 —— 線②「これが視点だ」とありますが、「視点」とはどういう性質のものですか。ふさわしいものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

あ いろんな見方をすることで、真実が映し出されるもの。
い 立場を変えることで、受け止め方が異なってくるもの。
う 自分の見たいものを見ることで正しく理解できるもの。
え 中立の立場で考えることで、新しい気づきがあるもの。

問五 本文の「**れる**」と文法的に同じ意味・用法の「**れる**」を含む文を、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

あ 屋上からは富士山が見られる。
い 先生が歩いてこられる。
う 昔のことが思い出される。
え プリントが配られる。

問六 —— 線③「主観」の対義語に当たる漢字二字の言葉を本文から抜き出しなさい。

問七——線④「A点とB点双方から等距離にあるC点が中立」とありますが、「中立」の位置を決めるものは何ですか。それが書かれている箇所を、本文から十九字で抜き出して、最初と最後の三字を答えなさい。

問八——線⑤「表現領域におけるこの原則」とありますが、「この」は何を指していますか。次の空欄に当てはまる言葉を本文から六字で抜き出して答えなさい。

表現は **六字** なものではないという原則。

問九——線⑥「報道の場合」とありますが、報道の場合、「中立」を目指すためにはどうするべきですか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- あ 報道記者は自分なりの真実を模索し、それを書き表すべきである。
- い 報道記者は起こった事実を、ありのままに書き表すべきである。
- う 報道記者は誰にでも理解される簡潔な表現で書き表すべきである。
- え 報道記者は多数の視点を持つことを心がけ、書き表すべきである。

問十 次のあ〜えについて、報道に携わる人の心構えとして、筆者の主張に合うものには○を、合わないものには×を、解答欄に記入しなさい。

- あ 情報とは主観であるということを常に自覚すべきだ。
- い いざとなれば、報道よりもまず命を優先するべきだ。
- う 自分の主観を退けて、中立の立場から報道すべきだ。
- え 事実を多面的・多重的に見ることを心がけるべきだ。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

アナウンサー寺田武(私)は四年間続けた自分のラジオ番組『こころの焚き火』の最終回に臨もうとしていた。その当日、母が危篤という知らせが入ってきたが、寺田は番組を優先する。

——はい、では、そろそろ本番。

白崎の声に続き、十時の時報、そして番組のタイトル曲が流れた。白崎が※サブから手を振ってキューを出す。

——今晚は、『こころの焚き火』寺田武です。いやあ、今夜は冷え込みますねえ。さて、今夜の一曲目は……。

喋り始めると母のことが頭から消えた。私にも一端のプロ根性はあるようだ……と、五輪真弓の『恋人よ』を聴きながらふと思った。

番組は坦々と進み、それでもあつという間に一時間が過ぎようとしていた。(中略)

——はい、オッケーです。テラさん、お疲れさまでした。

白崎のその声に①私はアナウンサーから、ひとりの息子に戻った。

靴と上着を掴み、サブに出て「すまん、打ち上げは今度にしてくれ」とだけ白崎に言うと、私はスタジオから出て廊下を走った。

玄関前につけていたタクシーに乗り込み、府中の病院名を告げる(X) 私の声に運転手は何がしかを悟ったのだろう。「なるべく急ぎます」と答えた。

それでも府中までは、一時間くらいはかかる。

②大粒の雨がワイパーが弾く様を見ながら、姉に電話した。

——あ、姉さん、今、車に乗った。で、母さんは……。

——……集中治療室に入ったまま……。

声に③落胆の色が滲み出ている。ふと、姉が頭を振る様子が浮かんだ。「工事かよ」運転手が(Y)した。

道路工事で迂回を強いられる。急いでいるときに限って、こうして行く手を阻まれる。

「運転手さん、別にいい道ないですか」
私は無力だ。母さん……頼む、がんばってくれ。母さん……。私は膝の上で拳を握りしめた。

「そんなにバタバタするんじゃないよ、みつともない」

気のせいだろうか、母の声が聞こえた気がする。

あれは、鉄道の事故現場から初めて中継を任されたときだった。新米アナの私は、現場の雰囲気のに呑まれ、見ようによつては、はしやいであるかのようにレポートをしてしまった。その中継を見た母に「人様が酷い目に遭つてるっていうのに、バタバタするんじゃないよ、みつともない」と、叱られたのだ。② 私はつい可笑しくなつて鼻を鳴らした。全然、進歩してないね、母さん……。

やがて病院の建物が見えてきた。時刻は零時を過ぎていた。

タクシーは病院のエントランスへ滑り込む。予め財布から抜いておいた一万円札二枚を「お釣りはいりません」と渡し、転げるように車外へ出た。吐く息が白い形になつて闇に消えてゆく。

正面玄関は閉ざされていて、夜間診療受付の出入りに回り込む。大體、集中治療室つて、どこなんだ？ 小窓から警備員に尋ね、場所を教えてもらったが、病院という建物は③ メイロのようで要領を得ず、たかが一階の奥にある集中治療室にたどり着くまでに、だいぶ時間を費やした。

「母は、寺田サチは？」

医師はゆっくり首を振ると「先程、息を引き取られました」とお辞儀した。

「そ、そんな……」

俄には医師の言葉を受け入れ難く、室内に飛び込んだ。額や首筋、全身の至るところから汗が噴き出した。

姉夫婦と、甥と姪が振り返った。

「武……」

姉がよろよろと近づいてきて、泣きじやくりながら私にしがみついた。私は姉を支えるように母に近づく。姉夫婦が私に道を譲るようにベッド

脇を空けた。私は座り込んでしまいそんな脱力感に見舞われながら、一歩として一歩と近づいた。

「母さん……どうして、こんなに急に……」

まるで眠るように横たわる母の顔に向かって問い掛けた。

「どうも、ラジオをね……聴こうとしてた……みたいなよ」姉がそう言つて声を詰まらせた。

「ラジオつて、もしかしてオレの？ でも③ なんて、廊下で倒れてたんだらう？」

姉に訊くと、姉は握ったハンカチで目の辺りを拭い、ひとり残つていた中年の看護師に視線を送った。私もそれに釣られるように彼女を見た。

看護師は小さくお辞儀をすると話し始めた。

「私が倒れているお母さんを見つけました。昨日の晩も、十一時前でしたか、自販機コーナーのベンチでラジオを聴いていたんです。私が何をしているんですかと尋ねると『消灯後にごそやるのは他の人の迷惑になるから』つておっしゃつてました。ここは寒いからもう寝ましようねつて言う『息子がやつてる番組だから聴いてあげない』つて。もしかして、入院してから毎晩聴いていたんですかつて尋ねたら、額うなずかれました」

母はリアルタイムで放送を聴いていたのだ。ふと、薄暗く寒いベンチに座り、じつと番組が始まるのを待つ母の姿が浮かんだ。

「一応、規則ですからダメですよと注意しましたら、お母さんは『明日で息子の番組は終わるので、そうしたらちゃんと規則を守りますから許してください』つて頭を下げられて……」

不意に込み上げてきた感情に

「それで今晚もラジオを聴くつもりなのだろうと、気にはしていたんです。消灯時間の少し前に見回りをしようとしていたんですが、ナースコールがあつて。で、消灯後に病室を覗いたんです。そうしたらお母さんの姿がベッドになくて。自販機コーナーに行つたら、そこでうすくま踞るように倒れていたんです。今日は夕方からぐんと冷え込んできましたから、それで……」

オレの放送を聴くために、三十分も前からそんな場所にいるなんて……。おまけに、最後の放送を聴けなかったなんて……。④ ばかじゃないのか。そう心の中で、悪態をつきながら、涙が溢れて止まらなくなつた。

息を何度も吸い込んで呼吸を整える。そして最後に大きく吐き出した。「悪いけど、ちよつとの間だけ、ふたりきりにしてもらえないかな？」

姉家族と看護師にお願ひした。彼らは一様に頷くと治療室を出た。

まだ微かに息をしているような母の顔をみつめた。こんなに皺だらけだつたかな。

「母さん……」

瘦せて節くれだつた指に触れる。まだ温もりがある。きつと魂はまだ近くに居るのだ。

窓の外に目を向けると、何かの鉄塔の先端に光が点滅していた。まるでオンエアーの赤いランプが点いているようだ。

「母さん、いいかい……」

私はベッドに上体を載せると、⑤ 母の耳元に口を近づけた。

「それでは、最後のお便りを① ショウカイしましょう。寺田武さんからのお便りです。私の母は昔から躰に厳しい人でした。それは私がダメな息子だつたからです。物事をすぐに投げ出すような子どもでした。いや、大人になつてからもダメでした。でも、あなたに叱られると、なぜか少し嬉しい氣もしました。だけど、たまには褒めてほしいときもありました。だから、あなたの容態が悪くなつても、番組を投げ出さずに、② がマンしてやり遂げました。こんなダメ息子が一端のアナウンサーになれたのは、あなたが日本一の母だからだと思います。あなたに育ててもらつたことを本当に感謝しています。面と向かつて言えなかつた気持ちを、最後の最後に伝えたいと思います。母さん、ありがとう……」

母さん、聴こえたかい？ ⑥ ちゃんとオレ、全うしただろう。今度こそ、褒めてくれるかい？

（森浩美『最後のお便り』より一部改変）

※サブ：放送の機器類を操作する部屋。

問一 —— 線①②③④⑤⑥について、漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直して書きなさい。

問二 —— 線①「私はアナウンサーからひとりの息子に戻つた」とありますが、どういうことですか。ふさわしいものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

あ 番組の最終回を終えたことで、子どものように喜んだこと。

い 初めて仕事を全うし、母に褒めてもらえると安心したこと。

う 大変な仕事から白崎の声によって解放され、ほつとしたこと。

え 仕事に徹するプロから、母を心配するひとりの人間に戻つたこと。

問三 (X)と(Y)に入る言葉として、ふさわしいものを、それぞれ次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

X あ うわづった い 勇ましい う はずんだ え 浮かれた

Y あ 目配せ い 満足 う 歯ぎしり え 舌打ち

問四 —— 線②「私はつい可笑しくなつて鼻を鳴らした」とありますが、なぜ「鼻を鳴らした」のですか。その理由を説明した次の文の(Ⅰ)～(Ⅲ)に当てはまる言葉を、本文からそれぞれ抜き出しなさい。

私が(Ⅰ)だつた頃、事故現場の(Ⅱ)を任されたとき、はしゃいでいるかのようなレポートをしてしまったことを母に叱られたが、その頃から全然(Ⅲ)していないことに気づいたから。

問五 —— 線③「なんで、廊下で倒れてたんだろう」とありますが、母は何をするために、廊下にいたのですか。簡潔に答えなさい。

問六 に入る慣用句としてふさわしいものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- あ 目をつぶる
- い 目頭が熱くなる
- う 目がまわる
- え 目を丸くする

問七 — 線④ 「ばかじゃないのか」とありますが、ここに込められた「私」の気持ちとして、ふさわしくないものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- あ 最後の放送を聞いてもらえず、無念に思う気持ち。
- い 規則を守らず自分勝手な行動をした母にあきれる気持ち。
- う 自分の体調を顧みず、無理をした母を責める気持ち。
- え 自分のことを最後まで気にかけてた母への感謝の気持ち。

問八 — 線⑤ 「母の耳元に口を近づけた」とありますが、私は何をしようとしているのですか。説明しなさい。

問九 — 線⑥ 「ちゃんとオレ、全うしただろう」とありますが、私は何を「全う」したのですか。「……」としての役割。」という形に広がるように六字以上十字以内で答えなさい。

問十 「母」の人物像としてふさわしいものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- あ 息子のすることはすべて正しいと信じ、息子が何をしても一切批判しない人物。
- い 自分の病気のことに精一杯で、息子の仕事ぶりに理解を示さない人物。
- う 息子の仕事ぶりに対して、あれこれ口をはさむような、威圧的な人物。
- え 息子を厳しくも温かく見守り、周囲への細やかな配慮も欠かさない人物。